

## 正副議長記者会見について

### 1 臨時会の総括について

- 今期臨時会は、6月21日の1日間の会期で開催した。
- 市長から提出された案件は、人事案件を含め、計20件を可決した。
- 議員提出議案は、条例は「大阪戦略調整会議の設置に関する条例を廃止する条例」1件、決議は「竹山修身前市長の政治資金問題等の調査に関する決議」1件を可決した。

#### 【議員提出議案について】

##### (大阪戦略調整会議の設置に関する条例を廃止する条例)

- 本条例は、大阪維新の会堺市議会議員団から提案されたもので、大阪府及び大阪市において大阪戦略調整会議の設置に関する条例がそれぞれ廃止されたことに伴い、本市においても設置条例を廃止するもの。
- 本議案は、本会議に提案され、可決された。

##### (竹山修身前市長の政治資金問題等の調査に関する決議について)

- 本件は、大阪維新の会堺市議会議員団から、竹山前市長の政治資金問題に端を発した、堺市長選挙にかかる選挙運動に関する収入及び支出の報告に関して、地方自治法に基づく、いわゆる百条委員会として特別委員会を設置するために提案されたもの。
- 本議案は、本会議に提案され、可決された。

### 2 議会改革度調査ランキングの結果について

- 6月6日に公表された、「早稲田大学マニフェスト研究所」による最新の「議会改革度調査」において、堺市議会が、政令指定都市20市中、6年連続で第1位、調査対象の全1,447議会中、全国第9位にランキングされた。
- この「議会改革度調査」は、三重県知事や衆議院議員を歴任され、早稲田大学名誉教授でおられる北川正恭氏を顧問とする、「早稲田大学マニフェスト研究所」が実施する地方議会の改革度を示す全国調査で、議会の情報公開、住民参加への取組み、議会機能の強化に向けた取組み等を点数化し、順位づけたもの。
- 調査結果は、全国の地方議会において、先進議会を視察する際の目安や、先進議会の取組みなどを調査する際に広く活用されているもの。
- 詳細は、同研究所のホームページ (<http://www.waseda-manifesto.jp>) においても確認していただける。

### 3 政務活動費領収書等のインターネット公開について

- 政務活動費に係る領収書等については、紙ベースのものを市役所内の市政情報センターにおいて、公開しているが、政務活動費の使途の透明性のより一層の確保を目的として、平成28年度交付分からは、堺市議会ホームページ上においても公開している。
- 平成30年度交付分の政務活動費に係る領収書等の公開開始日は、堺市議会ホームページ、市政情報センターともに7月8日（月曜日）からとなる。

### 4 記者からの質問に答えて

Q 本日竹山修身前市長の政治資金問題等の調査に関する決議が可決されたが、竹山前市長自身が百条委員会に出頭しない旨の発言をされている件について、どのようにお考えか。

A （議長）

本日、竹山修身前市長の政治資金問題等の調査に関する決議が全会一致で可決されたということで、議会の意思を尊重していただきたい。

また、本会議終了後、特別委員会の委員も選出されたところであり、この特別委員会としての活動が法にのっとり進められているのでその動向を見守りたい。

（副議長）

議長からもお話があったとおり、議会において全会一致で可決したということなので、その決議を重く受け止めていただき、ぜひともご協力をいただきたい。（竹山前市長も）市民の皆様に説明責任を果たすとおっしゃっていたわけなので、百条委員会の場にも出席をしていただきたい。

Q 議会改革度ランキングについて、堺市は高い評価を得ているわけだが、これからさらに上をめざすために考えていることはあるのか。

A （議長）

もちろん今のランキングで満足してはいけなないと考える。全国、各市議会において新たな試み、議会改革を進めているところであり、引き続き不断の議会改革への努力が必要だと考えている。

議会力向上会議の中で、様々な議論をし、各議員の意見を取り入れながら、前に進めていければと思う。

（副議長）

政令市トップということで、今までの堺市議会としての改革について一定の評価をいただいている。

ただし、全国の中ではまだまだ改善する余地があるのかなと思っており、今後調査、研究、勉強をさせていただいて、さらに改革を進めていきたい。

Q 本会議において市長のツイッターの件について質疑があったと思うが、市長の報酬を30%減額した場合、議員の報酬と政務活動費を合わせた額よりも百万円以上低いという発言について、どのように感じているか。

A (議長)

(議員の発言に) 同意している議員もいたりさまざまとらえ方がある。私自身はどちらの考え方もあると思う。今後、議会運営委員会の中で確認していきたいという旨もあったので、各議員の意見を拝聴していきたいと思っている。

(副議長)

議員それぞれのとらえ方があると思うので、市長のツイッターに対して理解を示す議員と異を唱える考え方も当然あると思う。

今後その点議論をしていく必要があるのではないか、また、議論が行われるのではないかと考えるので、しっかり議論していきたい。

Q 堺市長選の期間中に大阪維新の会の松井代表が堺市においても議員報酬の削減について発言があったが、どのようにお考えか。

A (議長と所属会派としての考えは切り離して説明したいと前置きをしたうえで)

議長としては、議会の議論を見守りながら決定されたことに従っていただくという中立のスタンスである。

ただし、私自身は大阪維新の会堺市議会議員団の一議員でもあるので、今までも身を切る改革等を実施しており、昨年も議員報酬の10%の受け取り拒否をしている。そういった立場では、身を切る改革ということは理解でき、それを進める立場でもある。選挙期間中に松井代表がどのような発言をしたかについては、わからないが、維新の会の一員としては、身を切る改革、その発言はもったもだと思う。

Q 本日提出された議案書において、副市長の個人情報が入り込んで隠されているのはどのようにお考えなのか。本会議において提出された議案用と公開用が違うが。

A 市当局から提供を受けているので、市当局の考えを確認しないとわからない。